



おひさま運動

- はようの声ひびく 思いやり育てる やさしいまち
- ろげよう読書 感動あふれる 学びのまち
- わやかな汗 心と体きたえる 健康なまち
- もろう決まり みんなでつくる 安全なまち

女性学級と高齢者学級閉級式開かる



気分は、飛行機・バスに乗り東京巡りツアー

2月10日(金)女性学級で「東京観光バスツアー」を行いました。東京で44年半バスガイドをされていた今別府町子さんの案内で、鹿児島空港から出発し東京の名所を歴史的背景や自身の経験、時には懐かしい歌も交えて面白く楽しく案内をして頂きました。コロナで旅行にも行けていませんでしたが、短時間ではありましたが楽しく東京観光ができました。

21日(火)には高齢者学級の閉級式を開催、吹上地域社会教育指導員の新屋盛美先生に「楽しく終活を」という演題でお話をして頂きました。

コロナの影響で外出を控えることが多くなりましたが、今後は『教育』と『教養』が大事です。

教育=きょういく 所がある(行く仲間がいる)

教養=きょうようがある(気合・やる気が大事)

高齢者としてできる事、『孫育て』もつたいない精神を伝える事。(へちまのたわし、しろの葉っぱのハエ叩き、竹で作るざるなど)

和田の入り口スッキリと
冬場でも陽がさすように



明るくなり、冬場の凍結緩和にも一役

2月18日(土)にサポータークラブ員や有志の方々と並岡交差点下の市道支障木の伐採作業を行いました。この付近は、冬場は風が強く今年1月の大雪の際は竹木が道路に覆いかぶさり日光が当たらず、雪もなかなか融けず危ない状態が続きました。



市道に竹木が覆いかぶさり、日中も陰に

なお、地区内の市道に覆いかぶさり、倒木などの恐れのある個所の下和田、中和田、上和田、並口自治会の4か所は、市で伐採してくださいました。

公民館講座申し込みましたか

生涯学習は、いつでもいくつからでも

迷ってる方、まずは申し込み、一歩を生涯学習で新しい自分を発見!

【公民館講座】

	講座名	開講日
1	スマートフォン教室	5/12 19:00
2	新規;楽しい卓球教室 (和田小体育館)	5/20 9:30

【自主講座】

	講座名	開講日
1	ハーモニカ教室	4/10 10:00
2	フラダンス教室	4/8 13:00
3	カラオケ同好会	未定
4	わだっこサークル	子育て仲間の交流 夏祭り・運動会・文化祭などに参加

【社会教育学級】

高齢者学級;自治会に高齢部がなくてもどなたでも参加できます。お気軽に参加して!元気に長生きするために「教育」と「教養」実践しましょう

女性学級;お昼に開催する予定です。

日々変わる時代の変化についていくために、研修視察や文化祭展示作品作りなどで楽しく学んでいきましょう。

高齢者学級	年8回程度
女性学級	年8回程度

◎参加者を随時募集しています。

講座募集案内に誤りがありました「フラダンス教室」
第2・4土曜日13:00
受講料1回1000円に訂正願います。

4月の行事予定

日	曜	行 事
5	水	文書発送
6	木	和田小学校入学式 10:00 吹上中学校入学式 13:00 第1回地区役員・総務教養部会 19:30
8	土	フラダンス教室 13:00
10	月	第1回地区運営委員会 ・地区消防協力会総会 19:30 ハーモニカ教室 10:00
13	木	地区公民館代議員総会 19:30
20	木	和田水土里クラブ役員会 19:30
21	金	文書発送 小学校・地区合同歓迎会 18:30
22	土	フラダンス教室 13:30
27	木	水土里クラブ代議員総会 19:30
28	金	文書発送
29	土	☼昭和の日

○令和2年1月15日に日本でのコロナ発生から4年目に入りました。この間、私たちの生活は一変しました。今春卒業の中学・高校生は、マスク姿の同級生との3年間でした。終息の見えないコロナ感染症社会の中で生活に支障のないように過ごすにはどうすればよいか。国は5月からはコロナ感染症対策の取り扱いを個人で判断するように決めました。マスク着用、行事の在り方など各個人、各団体の判断で取り組むこととなります。そのためには正しい感染知識を身につけ行動することがより一層大切になります。

公民館だより

和田 その1

第 343 号
令和 5 年 3 月 10 日 発行
日置市吹上町和田地区公民館
電話 099-296-3031
ホームページ <http://wada.jpn.org/>



第 5 期地区振興計画（令和 3 年度～ 5 年度）
地区のテーマ；「ずっと住み続けたい地域を目指して」
三世代 仲よく、住んでよし 学んでよし、
和田地区・和田小学校
和田地区人口：総人口/463 人 男性/227 人 女性/236 人 世帯数/255 世帯 5.3.1 現在

保健福祉部会報告；「見守り・健康づくり」



「皆様のご協力により2年間の大役できました」坂口会長
2月22日(水)保健福祉部会を開催し今年度の活動の反省をしました。

○必須事業「見守り活動」について
各自治会の見守りマップで異動のあった方や新たに見守りの必要な方の情報共有ができました。

○必須事業「健康づくり活動」について
自治会健康セミナーは、6自治会で80名の参加がありました。体力測定や体組成計測定により自分の体と向き合う良い機会となりました。来年度は少しでも改善または現状維持ができていようように運動を心がけていただきたいと思います。

春のウォーキングの時期の見直しと行事の時にハイゼックス袋を利用した炊き出し訓練はできないかとの意見もありました。自治会での自主防災組織や防災訓練のできないところもあるので地区で試みてもいいのではないかと意見がありました。

役員改選では、部長の坂口美喜代さんより退任のあいさつがありました。

戦国島津氏の「馬牧」全容 「伊作牧の苙跡」看板設置



苙岡自治会付近は、馬を追い込むところ



コメリ前付近は、馬を追い入れる場所

令和3年度のお宝発見事業にて、明らかになった「苙」の史跡の全容が看板になりました。看板作成には、県埋蔵文化財センター勤務の廣栄治先生にご協力いただきました。

藩営牧・伊作牧とは
薩摩藩は、藩内各地に馬牧をつくりました。馬牧は、牧内にいくつかの牧場をつくって、そこに馬を放牧、飼育しながら増やしたり改良したりして、藩で使用する軍馬、荷馬、農耕馬などを生産するところでした。
「伊作牧」は、天文8年（1539年）

苙口の「苙神様」看板設置



「苙神様」の入口に看板を設置
「馬牧」の全容を説明してあります

に島津忠良・貴久父子が加世田城を攻め落とし南薩を治める拠点築いたことで忠良は馬牧をつくり、戦勝の願をかけていたお礼に、金峰神社に奉納したことが始まりだといわれます。

明治3年（1870年）まで続いた伊作の野牧は、伊作郷和田村から田布施郷・阿多郷にまたがり、いくつかの牧場がありました。（吹上郷土誌 通史編二）

金峰山を中心に和田から田布施一帯は、薩摩藩にとって重要な施設があったところでした。現在、鹿児島県の農業の拠点となっていることを考えると昔から重要な地域であったことがうかがえます。

春を呼ぶ菜の花



小学校前の菜の花畑、毎春子どもたちを迎えて
和田小学校前の畑には毎年菜の花が咲き誇り、子どもたちの通学路を和ませてくれています。花のある風景は心を明るくしてくれますよね。ありがとうございます。

フラダンス教室に鏡：踊り練習 楽しく、学びやすくなりました



踊っている姿が見れて、楽しく練習！！
有志の方より文化祭・夏祭りを盛り上げてほしいとフラダンスの練習時に使える大きな鏡を寄付していただきました。フラダンスの踊りは、細やかな手や指の動きなどがポイントになります。先生の動きがよくわかり講座生も踊りやすくなったと喜んでいました。

『地域を盛り上げたい心』
ありがとうございました。
（4月行事予定は、裏面へ）

